

1 . 序 言

いよいよこの4月からの法人化に伴って、20年の歴史を持つ「岡崎国立共同研究機構」は解消されますが、分子科学研究所は岡崎国立共同研究機構の基礎生物学研究所、生理学研究所とともに国立天文台、核融合科学研究所を加えた5機関で構成する「大学共同利用機関法人自然科学研究機構」の一員として生まれ変わります。

本研究所は、分子スケールナノサイエンスセンター棟及び世界最高性能の920MHz核磁気共鳴装置を山手地区（岡崎市明大寺町東山）に設置し、また、超高速コンピュータ網形成プロジェクトのナノサイエンス実証研究の拠点となるなど、更なる発展を目指してこの岡崎の地において引き続き研究活動の推進を行ってまいりますので、ご理解とご支援をお願いします。

平成16年3月

分子科学研究所長 茅 幸二